



大手通坂之上町地区市街地再開発事業

米百俵プレイス（仮称）「人づくり・学び・交流エリア」（仮称）

設計概要



長岡市

令和3年1月

1 100年先の長岡のために — まちなかに新たな拠点

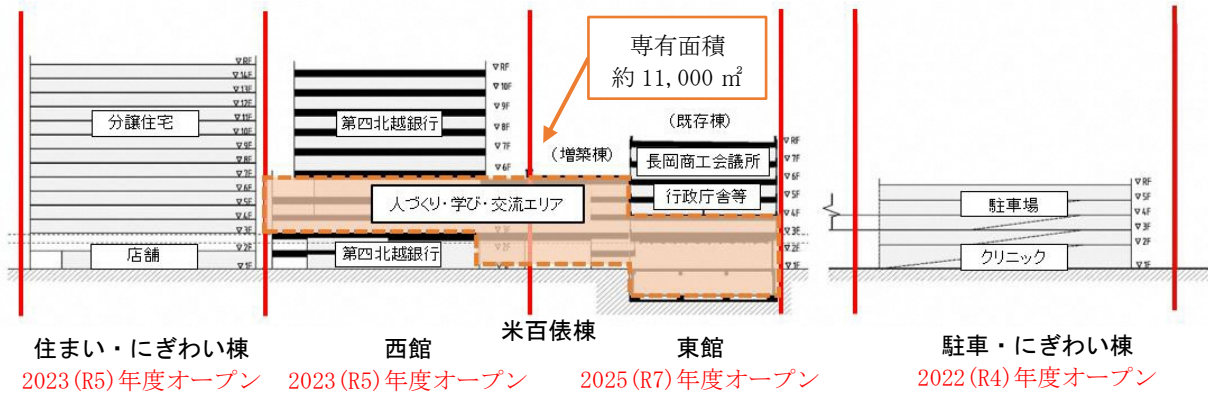
人口減少や産業の担い手不足などのさまざまな課題を解決し、100年先の長岡を創っていくためには、これまでの固定観念にとらわれない人づくりと産業振興が欠かせません。

そこで長岡市は、大手通坂之上町地区の市街地再開発事業で、その拠点となる施設「米百俵プレイス（仮称）」を整備します。同地区は「米百俵の精神」から生まれた国漢学校の跡地に位置し、現在は第四北越銀行長岡営業部や旧大和、長岡商工会議所などがあります。

この中で市が整備する「人づくり・学び・交流エリア（仮称）」は、①人づくり・学び②産業振興③にぎわいの3つの観点で機能を導入。人と交流し、多くの情報が得られ、新しいチャレンジの機会に出会える複合施設を目指します。

さらに、中心市街地に整備してきたアオーレ長岡をはじめとする施設と連携し、全市へのイノベーション（新たな価値の創造）、新たなにぎわいと回遊性を高める人の流れを作り出します。

なお、当該事業は、長岡市総合計画、長岡版総合戦略、長岡市中心市街地活性化基本計画（平成31年3月18日認定）に位置付けられています。



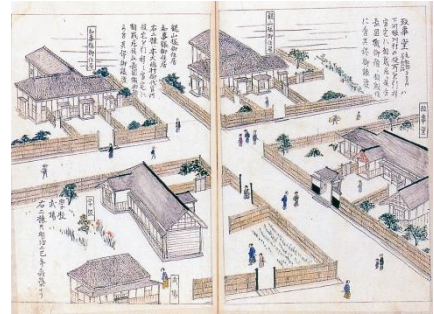
2 「人づくり・学び・交流エリア」(仮称)の整備方針

(1) 息づく歴史と未来への継承

米百俵プレイス(仮称)が建設される地は、明治3年(1870)6月15日に移転開校した国漢学校の跡地という歴史的な場所です。戊辰戦争後の再興長岡藩は、国漢学校、政事堂(藩の役所)、藩知事(大政奉還後の藩主の呼称)・前藩主の住居をこの地に一体的に整備し、近代的なまちづくりの原点としました。

またこの施設には互尊文庫の機能が移転します。大正7年(1918)に開館した初代互尊文庫は、法律や経営など産業分野や教養本を収集し、人生を有意義に過ごすための知識・教育を取得するために多くの市民が訪れました。多くの産業人が集まる談話室は、産業人の修養の場として長岡の産業の発展に寄与しました。

「人づくり・学び・交流エリア」は、こういった歴史と文化を継承し、新たな人づくり・産業振興の拠点として整備します。



小川當知「懐旧雑誌」挿絵
左下の建物が国漢学校

(2) 基本方針

「人づくり と 産業振興」 を 総がかりで支える地方創生の拠点

未来へつなぐ新しい米百俵 ー長岡の歴史や文化、まちづくりの精神で新たな価値を創造する

3つの視点

人づくり

①未来の長岡を支える人づくり・学びの拠点(知的創造)

産業振興

②新しい産業を興す人材・仕掛けの拠点(産業人の育成)

③産業界のイノベーションを促進する4大学1高専の拠点

(産業基盤の強化・新技術開発)

背景

社会構造、自然環境の変化
正解がない、正解がわかりにくい時代
描きにくい未来を生きていくためには?

これから必要なのは

課題に遭遇したとき、
一人ひとりが問いをしっかりと立てて、
未来を拓いていく力

新しい施設が目指すのは

心が揺さぶられる出会い、モチベーションが高まりアクションが生まれ、次のアクションに連鎖する。
さまざまな人と意識を共有し発想が広がり、新たなアイデアが生まれる。

⇒「長岡でいきいきと暮らす“コト”づくり」から「長岡発の新たなビジネス発信」まで

米百俵の精神・新しい米百俵(未来への投資)、互尊独尊(修養の場の重要性)

当地区に根付く「人づくり・まちづくり」の考え方を、
新たな施設の整備においても踏襲し、新たな価値の創造を目指します

現代版「国漢学校・互尊文庫」

(3) コンセプト実施に向けて ～3つの場で5つのプログラムを展開する～

■ 3つの場

1

問いを自ら立てることを学ぶ、創造的な学びの機会を提供する場

自分自身で感じたり、考えたりする学びの機会を展開。体験を通じ、問いを繰り返していくことにより、新たなアイデアやビジョンを身に付けていく。各々の問いに対する答えをみんなで話し合い、新たな道を見つけたり、互いに学び合う機会をもつ。

2

人に出会い、歴史・地域を知り、自分を知る新たな価値が生まれるきっかけの場

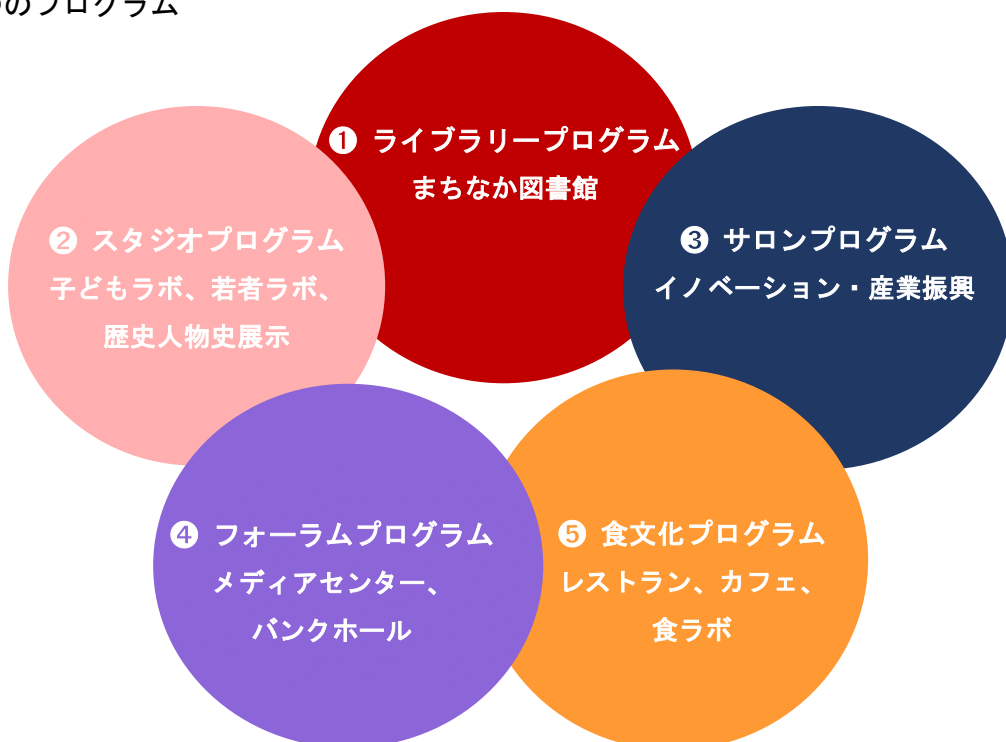
長岡の歴史、文化、産業、そしてさまざまな考えをもつ“ひと”に出会ったり、知ったりすることで、いきいきと生きていくための価値（仕事・いきがい・社会貢献活動）とはどういうものかを考える。
イノベーションを起こした人などからイノベーション遺伝子やそのタネをうまく引き継ぐにはどうするか考える。

3

ビジネスを成長させるためのプロジェクト支援の場

4大学1高専、市内企業の研究セクション、金融機関、商工会議所、産業支援機関が集結し、イノベーションのタネをしっかりとプロジェクト化（バイオエコノミー、AI画像解析など）する。
目標共有、工程管理、リソース、リスク、知的財産権などのマネジメント、評価といった一連の流れを支援する。

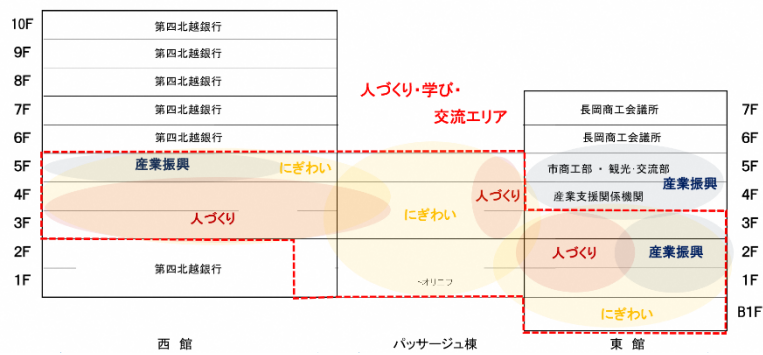
■ 5つのプログラム



(4) 施設配置

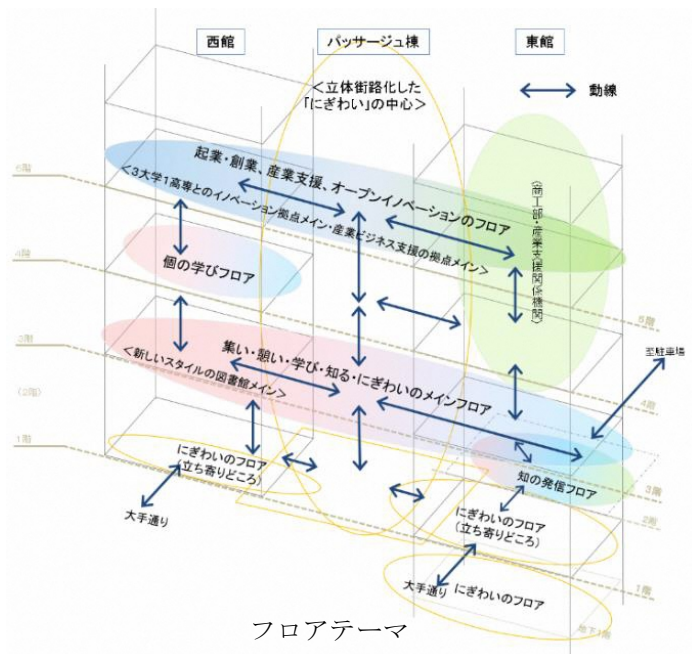


■ 配置イメージ



(5) 導入機能と空間のあり方

「未来の長岡を支える人づくり・学びの拠点」として、まちなか図書館・子どもラボ・若者ラボ・歴史人物史展示など多様なアクティビティを促進する機能を持つ「新しいスタイルの図書館」や、「新しい産業を興す人材・仕掛けの拠点、産業界のイノベーションを促進する4大学1高専の拠点 (NaDeC 構想の実現)」として産業人の育成や産業基盤の強化・新技術の開発に資する機能を導入します。これらの機能は、米百俵プレイス内に入居を予定している長岡商工会議所や株式会社第四北越銀行、市商工部と産学官金による事業連携を実現していくものです。



また、空間構成・配置はフレキシブルに伸び縮みが可能で、各機能が存在感を持ちながら本でつながり、お互いに作用しあい融合している空間とします。

3 導入機能の基本方針とフロアイメージ ※平面図は、今後の検討により変更する場合があります

新しいスタイルの図書館（人づくり・学びの拠点）

- ◆ まちなか（中心市街地）にふさわしい、新しいスタイルの図書館
- ◆ 子どもラボ、若者ラボなど施設内で実施するプログラムは、まちなかの既存施設の類似プログラムを整理し、実施する

まちなか図書館

- ・「米百俵の精神」発祥の地という歴史を踏まえ、図書・情報は、産業人の育成や起業支援・経営支援、地域、学び、将来につながるものを特徴とする。
- ・まちなかの場所性やまちなかに集う利用者動向から、図書・情報は、仕事や暮らしを豊かにするものを中心としたラインナップとする。
- ・選書は、想定するメインの施設利用者である若者や NaDeC BASE 利用者のニーズも踏まえる。
(→ p. 7)
- ・図書・情報は、常に更新し、新鮮な情報を提供する（新刊本や話題の本などは、なるべく多くの人に読んでもらうため貸出は行わないなど運用方法を工夫する）。
- ・電子書籍など、利用者動向に合う情報取得のための新しい機能を取り入れる。
- ・コーヒーを飲みながら誰でも気軽に利用できる図書館として、にぎわいを創出する。
- ・互尊文庫の創設当時にあった談話室の精神性や現在の学習室を受け継ぐ、読書、学習、仕事ができるスペースを施設内に取り入れる。

子どもラボ

- ・学校の授業では学べない、新しい学びや、長岡だからこそできる学びを展開し、教育にイノベーションを起こす。
- ・子どもたちの将来にインスパイアを与える工夫・仕掛けを取り入れる。
- ・子どもたちが自ら興味のあることを調べ、学べる。
- ・友だちや初めて会う人とも交流ができ、楽しみながら時間を過ごすことができる。
- ・メインターゲットは、小・中学生。

若者ラボ

- ・若者の賑わいを生む居場所・若者の個性や未来への可能性を伸ばせる場所。
- ・若者のふるさと帰りを呼び起こす仕掛けを展開。
- ・色々なくつろぎ方・過ごし方ができる居心地のよい空間。
- ・メインターゲットは、高校生～社会人。

歴史人物史展示

- ・米百俵プレイスに導入する機能のバックグラウンドとして、館内に、米百俵と長岡の各分野におけるイノベーション（人・モノ）をテーマに史実を伝える展示をする。
- ・デジタル技術を活用した体験・思考型の展示を行う。
- ・メインターゲットは、総合学習の小・中学生、観光客。

子どもの学びの場

まちなかキャンパス長岡の「子ども向けプログラム」や、青少年文化センターの「楽しい教室」、ながおか・若者・しごと機構の「しごと体験」「プログラミング教室」など、既存施設で実施しているプログラムを整理し実施するほか、新しいプログラムも実施する。

グランパッサージュ

緑のある公園のような空間。居心地のいい憩いの場で、多世代の人が気軽に集い、交流できるスペース。

中央にはカフェを設け、飲食しながら本を読んだり、勉強や打ち合わせなどに利用できる。

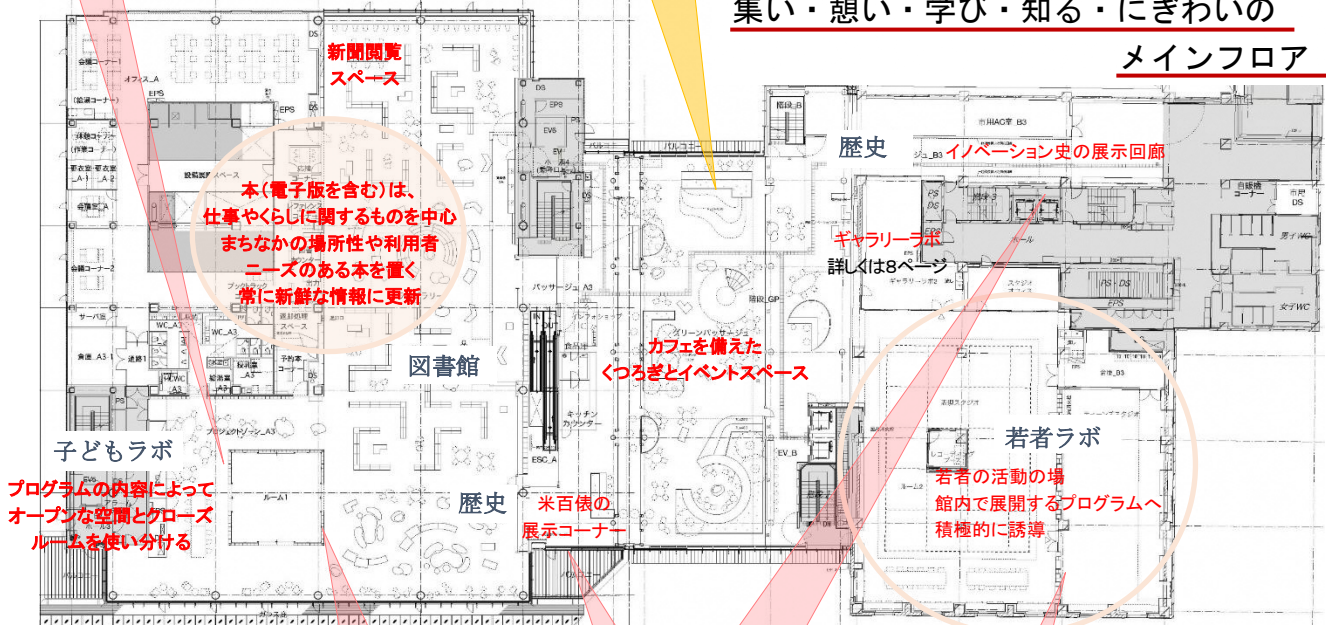
オープンなスペースで、まちなかキャンパス長岡で実施しているような講座や各種イベントなど用途に応じて様々な使い方ができる。

(にぎわい機能は9ページへ)



3階イメージ

集い・憩い・学び・知る・にぎわいの メインフロア



図書館の中で講座や会議も

ガラスで囲まれた外から活動が見える空間。セミナーやワークショップ、ギャラリー、若者交流イベントの場として利用できる。通常は学習や閲覧用の「リーディングルーム」として開放して使用する。

米百俵の展示コーナー イノベーション史の展示回廊

テーマは、「米百俵」と「長岡のイノベーション」。米百俵の精神と、長岡の先人が様々な分野で成し遂げてきたイノベーションの歴史を紹介する。

ティーンズスタジオ

高校生や大学生が中心となって利用する空間。ながおか・若者・しごと機構で実施している若者向けプログラム等を中心に実施する。

若者が個性や可能性を伸ばすことができるプログラムを検討する。

4階 個の学びフロア

● サイレントルーム (学習室)

静かなところで本を読みたい、学習したい、仕事をしたい人向けのサイレントルームです。

- ◆大学や産業界との交流・連携を促進することで、産業人の育成や商品・サービスの開発を促す
- ◆学生や若者が起業しやすい環境を提供することで新しいビジネスの創出を促す

4 大学1高専とのイノベーション拠点

※
(NaDeC構想の実現の場)

- ・4大学1高専が持つ知見と人材、ものづくり企業の集積を活かし、産業振興と人材育成を進める「長岡版イノベーション」の拠点を整備する。
- ・平成29年11月に市内大学・高専から提案を受けた「NaDeC構想」を受け、4大学1高専の活動拠点を整備する。
- ・先行実施施設「NaDeC BASE」での活動やノウハウを活かし、導入機能をブラッシュアップし、施設整備に反映する。

産業ビジネス支援の拠点

(長岡商工会議所、市商工部・観光・交流部、産業支援関係機関の集積)

- ・産学官金の集積機能を活かし、頑張る企業や働く人を総合的に支援する産業振興の拠点・産業ビジネス交流館(仮称)を整備する。
 - 産業の創出や企業経営等の支援
 - 若者の就業や起業・創業の支援
 - 地場産業を担う人材の育成
- ・企業が市民や来館者と交流できる場を提供する。

1 経営相談・起業相談窓口

企業の経営相談(販路拡大、情報発信、新商品新サービス戦略、資金調達など)、技術相談(ICT対応など)、起業・創業の相談窓口。産業支援関係機関や行政と連携し、ワンストップサービスを提供する。

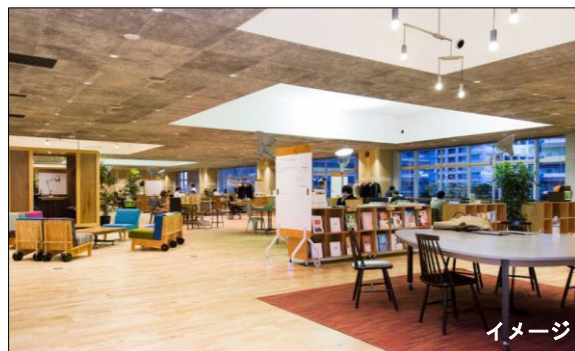
2 交流サロン

学生や企業人の交流の場となる、有料・会員制のコワーキングスペース。国内外で活躍する専門家を招いた交流会など、新たな発見を得られる場に。起業家の育成、新しいビジネス支援を行い、イノベーションを促進する。



3 ビジネスライブラリー

可動式のテーブルやソファなどを備えた自由な空間。学生や企業人が来館者と交流、セミナーなどによりアイデアを膨らませたり、産業関係の図書を配置し、ビジネスの課題を解決したりする場に。

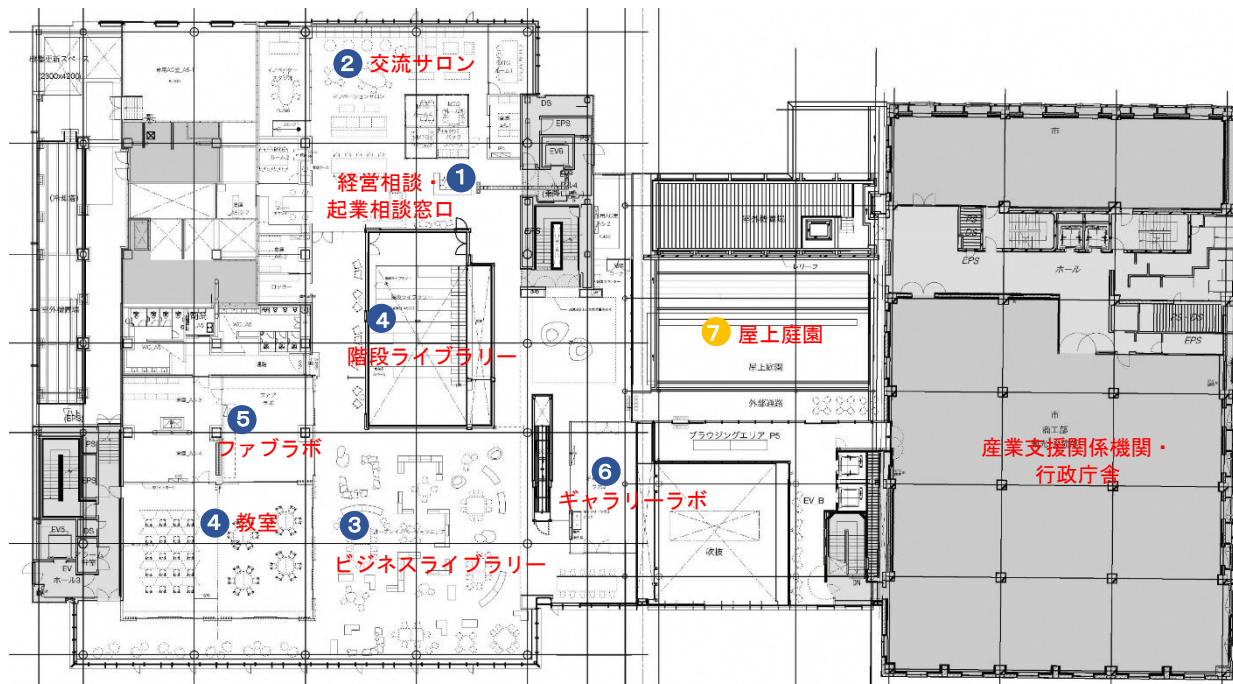


※ NaDeC構想とは

市内4大学1高専(長岡技術科学大学、長岡造形大学、長岡大学、長岡工業高等専門学校、長岡崇徳大学)の特色、専門性と企業家の技術、自由な発想を融合し、新しい人材、技術、アイデアの創出と次代に対応する人材を育成することを目的とした事業。

5階イメージ

起業・創業、産業支援、オープンイノベーションのフロア



4 教室・階段ライブラリー

教室は、可動間仕切りを備え、空間を自由に分けることができるスペース。階段ライブラリーは4階からの階段を活用したスペース。

大学などの授業、企業向け講座、起業・創業セミナー、学生や若手ビジネスマンを対象とした就職説明会や人材育成セミナーに使用する。



イメージ

5 ファブラボ

3Dプリンターやレーザーカッターなどを備えたプロトタイピングルーム。

学生と企業が一緒にアイデアを形にしたり、試作品を制作したりできる。一般の利用も可。

6 ギャラリーラボ

大学の研究室が持つ知識や技術を、市民や企業にPRする場。新たな価値の創出や分野を超えた交流を目指す。

ほかに1階、3階に各1室。

7 屋上庭園 (にぎわい機能は9ページへ)

現代美術家・斎藤義重のレリーフ「大智浄光」を新しい施設に合わせて設置し、かつての長岡現代美術館の記憶を受け継ぐ空間として整備。

アートに触れながら、学生や企業との交流や食のイベント、読書や学習、仕事ができるスペース。

2階 知の発信フロア

● メディアセンター

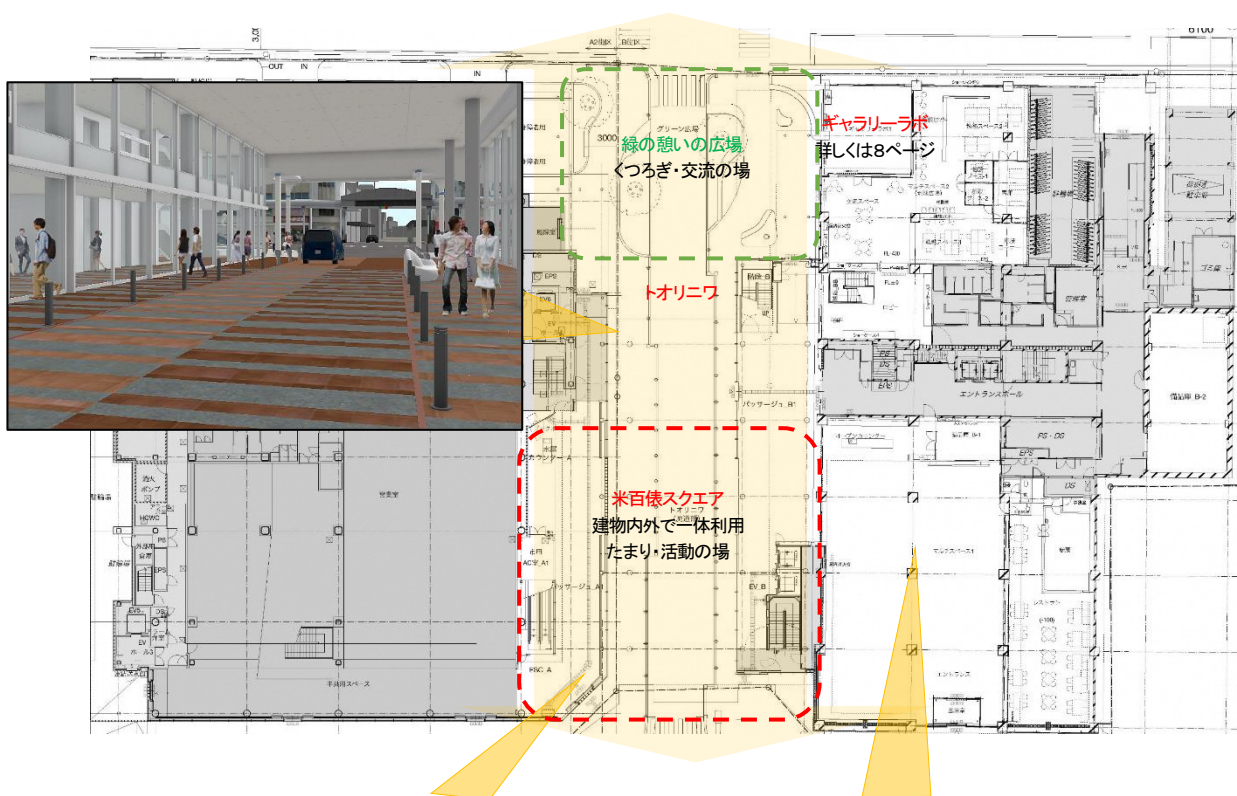
会議場やプレゼンの場として、NaDeC BASEで実施している発表会や学会、アオーレ長岡と連携したイベントを実施。

可動式の間仕切りで分割するなど、ギャラリーとしても利用できる。

◆ まちなか（中心市街地）のにぎわいを創出する活発な交流が生まれる付加機能

- ・多世代の人が気軽に集い、出会いや交流が生まれる場を整備。
- ・民間のアイデアと資金力を積極的に活用した物販・飲食（カフェ/レストラン）などの商業機能を導入する。
- ・施設内緑化を行い、居心地のいい憩いの空間・交流スペースを設置する。
- ・人づくりと産業振興に関連したプログラムやアオーレ長岡のイベントとリンクしたにぎわいの創出を図る。

1階イメージ にぎわいのフロア



● トオリニワ・米百俵スクエア

西館と東館の3階を建物（パッサージュ）で連結することで、道路が屋根のある屋外広場に。

平日はコミュニティ道路、休日は歩行者天国としてイベントを開催。

雨の心配もなく、2つの建物を一体的に利用できる。

● バンクホール

東館1階の大手通りに面して、気軽に立ち寄れる空間。

若者の活動発表や産業に関する展示会（新商品・新技術発表、ショールーム）、アオーレ長岡のイベントのサブ会場などにも利用可能。

物販や飲食（カフェやレストラン）など民間活力の導入も検討する。

◆ 施設内イメージ

3階 鳥瞰図



5階 鳥瞰図



米百俵棟西館

パッサージュ棟

3階 米百俵棟西館 まちなか図書館（大手通側）



3階 米百俵棟西館 まちなか図書館（中央付近）



5階 米百俵棟西館 交流サロン、起業相談・経営相談窓口



4 市民のアイデアでつくる新しい施設

◇市民ワークショップの開催

平成29年度に市長を中心とした市内有識者による検討会（計6回）や導入機能に関する実践者・経営者などにヒアリングをしながらまとめた基本方針をもとに、市民からアイデアを募るワークショップを開催（6月～9月、計3回）しました。

参加者は、学生や企業関係者など、10代～70代の幅広い世代から延べ100人が参加し、この場所で「どんなことができる？」、「何をやったらオモシロい？」、「ここができるとまちの未来がどう変わる？」など、新しくできる施設についてみんなで考えました。

出されたアイデアは、平成30年度に市が実施した基本設計に取り入れ、今後策定する運営計画などにも反映していきます。

DAY1

どんな使い方過ごし方がしたい？



2018年6月23日

DAY2

米百俵プレイスをどんな場にしたい？



2018年7月26日

DAY3

米百俵プレイスで地域はどう変わる？



2018年9月9日

アイデアいっぱい！

ワークショップで出た
主な意見を紹介します

活動イメージ

- ・子どもが学生や大人と、自然に交流できる
- ・立ち飲み、立ち食い、ビジネストークができる
- ・世代を超えたさまざまな立場の人が出会える
- ・いつでも面白い人や本に出会える
- ・常に学生と企業人が出会える
- ・雑誌の数を日本一に
- ・長岡の活動を世界に発信する

空間イメージ

- ・屋内だけど緑いっぱい。自然を感じられる
- ・一人で集中する、居合わせた人と交流できるなど、さまざまな使い方に対応できる家具や空間
- ・長岡のシンボリックな存在に



米百俵プレイスから生まれる 「将来の長岡像」

- ・米百俵プレイス利用者、ノーベル賞受賞し凱旋
- ・長岡総業のベンチャー企業、東証へ上場
- ・子どもの企業に全国が注目！子ども商店街
- ・ミシュラン5つ星レストラン長岡でオープン
- ・長岡が今オモシロイ
- ・「子どもの学び」長岡が世界一に

完成から10年後の未来

米百俵プレイスがどんな場所になっているか新聞にまとめました



5 開館までのスケジュール

2017年度 (H29)	2018年度 (H30)	2019年度 (R元)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
			除却	西館 建築工事		● 米百俵棟 (西館) オープン	東館 耐震改修増築工事	● 米百俵棟 (東館) オープン
基本構想	市民ニーズ把握	人づくり・学び・交流エリア						
	基本設計	実施設計	運営体制検討・開館準備					開館準備
NaDeC 構想								
	先行実施 (旧大和長岡店 1階)	先行実施 (市民センター)						

市ホームページもご覧ください



- くらし・手続き
- 健康・福祉
- 子育て・教育
- 観光

現在のページ [トップ](#) > [市政](#) > [まちづくり](#) > [米百俵プレイス\(仮称\)](#)

◆【米百俵プレイス(仮称)】人づくり・学び・交流エリアの整備

大手通坂之上町地区市街地再開発事業で「米百俵プレイス(仮称)人づくり・学び・交流エリアを整備します。
整備の概要は[こちら](#)

人づくり・学び・交流エリアの基本計画

人づくり・産業振興を総がかりで支える地方創生の拠点として、「人づくり・学び・交流エリア」を整備します。
まちなか図書館や子どもラボ、若者ラボなど多様なアクティビティを促進する機能や、産業人の育成や産業基盤の強化・新技術の開発に資する機能の導入を図ります。
平成30年度に基本計画を含む基本設計を実施し、令和元年度は内装の実施設計を実施しています。

◆市街地再開発事業の概要

最終更新日 2019年9月13日

市街地再開発事業位置図



VR映像も見られます！



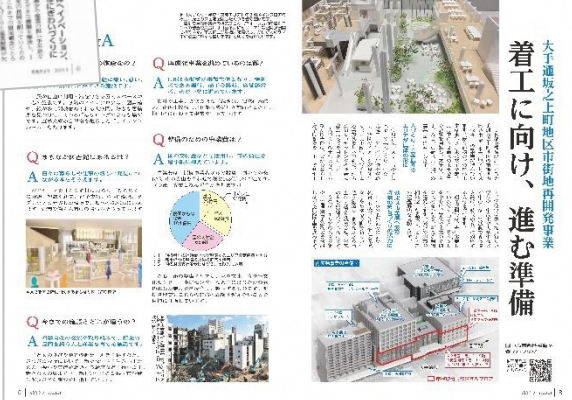
▽市政だよりでもお知らせしています▽



2019(令和元)年9月号



2020(令和2)年8月号



2020(令和2)年11月号

米百俵プレイス(仮称) [検索](#)



スマートフォンの方は
こちらからもアクセス
できます

長岡市中心市街地整備室

TEL:0258-39-2807 FAX:0258-39-2827

E-mail: shigaichi-seibi@city.nagaoka.lg.jp

大手通坂之上町地区市街地再開発事業

米百俵プレイス（仮称）「人づくり・学び・交流エリア」（仮称）設計概要

長岡市中心市街地整備室（発行 令和3年1月）

